
2の7奮闘記

日々楽々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2の7奮闘記

【Nコード】

N3083C

【作者名】

日々楽々

【あらすじ】

二年七組は今日もかしまし！畜生どもと本気で戦争やらかします
！！一話完結です。

宣誓（前書き）

王道のかわりの小説ですが、コチラは少し実話混じりです。

宣誓

「宣誓！！」

「私達は！」

「憎き畜生どもを！」

「正々堂々！」

「卑怯上等で滅殺し！」

「跡形も残さず！」

「この世から消し去ることを！」

「誓います！！」

「平成十……」

（九だよ）

「九年！七月十二日！」

「二年七組代表！里山愛！！」

「同じく山本寧々！！」

（舞台裏）

「ヤマモツチャンって寧々って名前だったんだ」

「なんだと思ってたんだよ」

「薫とか晶みたいな中性的なの」

「お前は私のことをなんだと思ってるんだ!!?」

「オナベ」

「……………お前……………」

「どしたの？」

「よく分かってるじゃないか」

「えへへ♪」

「けど少し違うな」

「違うの!？」

「私はレズだ!!」

「へえ」

「驚かないのか？」

「ここは元女子高だからね!男子なんて全校生徒集めても十人いる
かいなにかくらいじゃない?」

「ああなるほど」

次回に続く!!!

V S 蛾 (前書き)

文章がおかしいところありまくりだと思いましたが、ヨロシクです m
() m

V S 蛾

うわー。はははははっ。うおー！！
ぎゃー！！！！

ハアハアハア。

ん？あっどうも、この度ナレーションを担当致します。七菜七です。
……『ななななな』って酷いと思いませんか？名前が七なのはラッキーセブンなんだそうです。はあ。

まあ私の事は置いて2の7初の挑戦相手は一匹の『蛾』です。
今は昼休み。みんなで楽しくワイワイとご飯を食べていたのに、突然放たれた恐怖の怪物……。まじこえーです。

「ななな！！そっち言ったわよ！！」

ぎゃー！！！！いや！！いや！！くんなくんな！！いやほんと来んなよ！！！！

蛾は蹴ったり教科書で叩いてもなお向かってきます。

ふざけんな！！せつかくおにゅくのバックに、これまたおにゅくの香水をかけてきたってのに……蛾の輪分なんて死んでも着けさせん！！！！！！

バックの前に立つ私は正に弁慶。

後ろにおわす、義経公のためにここは通しませぬ！！

少し距離を空けて対峙するは私と蛾。

どこからともなく吹く風（扇風機の風）に私の髪がサラサラと揺れ、蛾はその体全体が飛ばされそうになるのを必死に堪える。

周りの皆は固唾をのんで私達二人を見守る。

その均衡を解いたのはいつも聞いているあの音。

キンコンカーンコン

「お前らなにやってるんだ！！席につけ！」

私達は一斉に先生の方を向き、般若のような目付きで先生を睨んだ。

「ま、まあなんだ。元気がいいことは悪いことではないしな！！先生はプリントを取ってくるんで全員静かに自習しているように！！」

そう言って先生がプリントを取りに出て行った（逃げていった）瞬間私は叫ぶ。

「敵はどこじゃああああああ！！！！」

その声に呼応したように、一人また一人と雄たけびを上げる。すぐに私たちは静寂を取り戻し、血走った目で周りを見渡す。

パタパタ：

不意にそんな音が聞こえ、私たちはその音が聞こえた場所に飛び掛る。

：その場所は、私の机付近。まさに私のバックのある場所だった。

「……この畜生があ！！！！」

私達は特殊武器（教科書、又はノート）を取り出し、がに向かって突撃した。

だがさすがにそこは蛾。だてに蝶々の姿をしているわけじゃない。私達の秘密兵器が現れる。

「今よ！加奈！！！」

「オツケ！」

そして加奈は秘密兵器のスイッチを押し、『強風』にする。

そう、秘密兵器とは今年になって学校が無駄な資金を使って設置した扇風機だ！！！！

これは正に滞空用の最強兵器で、空に逃げる敵には風という名のバリアーが張られ、上からしたに戻されてしまうのだ！！さらに！！たまに上にいる畜生をみじん切りにするという正にこれは畜生どもを殺すための兵器と私達は疑っていないほどの最強さんなのだ！！！！さてさて、そんなことを考えている間に上にいた蛾が落ちてきたよ。

「さあみんな、グチヨグチヨにしてやろうではないか」

だが、秘密兵器について追記すると、ある一つの欠点がある。それは……

先生

「よし、お前ら！プリン……………」

私

「……………」

皆

「……………」

先生

「ブワァハ！！」

生徒一同

「「きゃあああああああ!!!!」」

そう、欠点とは……スカートがブザーってなっちゃうことなのである!!!!!!

勿論私達は純情な女子。しかも女子校生なので男子との交流なんて余りなく、更にはここはお嬢様学校だったりするので送り迎えも車なので、はつきり言って知ってる男は親類か執事くらいなものなのだ!!!!!!

……お嬢様が蛾を殺すのに教科書片手に暴れるなよとかいうツツコミは受け付けませんわよ!! ホォーホッホ!!!!!!

「七ちゃん!! なにあっちの世界にいつてんのよ!! 早く戻ってこーい!!」

「はっ! ……私があっちの世界になんて行ってないわよ!」

「そうじゃなくても扇を片手に『ホォーホッホ』とかいつてたら、頭がイッちゃってる人だと思われるもおかしくないよ」

た、確かに……。

「で、でもそんなことより、今は蛾よ!! あの憎き宿敵はどこにいるのよ!!!!!!」

「さっきそこから飛んでいったけど……」

「……………」

少し激しい戦いのあとに残ったのは、静寂と私達のクラスの担任（44歳独身、彼女いない歴44年）だけだった。

,

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3083c/>

2の7奮闘記

2010年10月12日07時46分発行